

2024 年 5 月 10 日

小林製薬株式会社 2024 年 12 月期第 1 四半期 決算説明会 質疑応答要旨

Q：第 1 四半期に計上している特別損失 38 億円の内、製品回収関連損失 36 億の内訳と今後の見通しは？

A：内訳については非開示とさせていただきますが、3 月末までにかかった費用の他、4 月以降も発生が見込まれ、現時点で合理的に算出可能なものを計上しています。主なものとしては、決算短信にも記載の通り、当社製品の回収、企業様向け紅麹原料の回収、医療費等のお支払いとなります。今後の見通しにつきましては、現在も全社を挙げて事態の全容把握に努めており、合理的に算出可能になった段階で改めて計上いたします。

Q：「企業様向け紅麹原料の回収」に関して、今後、損害賠償等の費用が増え、特別損失として計上される可能性はあるか？

A：各企業様と協議し、合理的に算出が可能になった段階で改めて計上いたします。

Q：「企業様向け紅麹原料の回収」で特別損失として第 1 四半期に計上したものの中には、海外の分も含まれているか？

A：含まれておりません。

Q：4 月足元の状況で、ヘルスケアは出荷ベースで前年比 83%とのことだが、その内医薬品カテゴリーにはどの程度影響が出ているのか？また、中国大陆などで影響が出ているとのことだが、現地通貨ベースでどの程度影響が出ているのか？

A：国内の医薬品カテゴリーは前年比 85%となっており、主に「ナイシトール」が影響を受けております。「ナイシトール」には紅麹原料は使用しておりませんが、今回の回収対象となっている「ナイシヘルプ+コレステロール」にパッケージが似ている等の理由かと認識しております。中国大陆については前年比約半分で、これは広告を中止している影響が大きいと見ております。

Q：国内の4月の足元の状況は、前年比92%とのことだが、その状況は週を追うごとに悪化し続けているのか、底打ちしているのか？

A：底打ちしていると認識しています。

Q：4月のインバウンドの影響をもう少し詳しく教えてほしい。

A：4月のインバウンドの実績はまだ確定しておりませんが、3月22日の公表前と比べて、インバウンド全体で数%程度、売上が押し下げられているのではないかとみています。

Q：春の新製品への影響は出ているか？

A：新製品の一部（食品など）に配荷影響が出ております。

Q：秋の新製品は予定通り発売するのか？また、開発中の新製品で中止になったもの等はあるか？

A：秋の新製品及び開発中の新製品とも、現時点では予定通りです。

Q：広告は、食品カテゴリーだけでなく、すべてを中止している状況か？いつ再開する見込みで、再開するための条件等あるか？

A：現在はすべての製品において広告を中止しており、再開時期は未定です。条件も含めて今後検討しますが、現在は原因究明・再発防止に向けた検証を進めており、その検証が明らかになったタイミングで検討していきたいと考えます。

Q：広告を中止したことによる売上への影響は、どの程度想定しているか？

A：売上への影響は、もう少し状況を見てみないと見通しが立てにくいと考えております。

Q：国内の広告費は減っているようだが、1Qの広告は計画通りなのか？

A：紅麹関連製品の使用中止のお願いと自主回収を公表した3月22日以降、広告は中止しており、その中止費用は特別損失へ計上していることもあり、国内の広告費は対前年で約10%減っていますが、それを除くと計画通りです。

Q：ドラッグストアなどの売り場や棚への影響はどの程度出ているか？また、その影響は今も継続しているのか？

A：サプリメント等の一部で影響が見られており、その影響は現在も継続しています。

Q：今回の紅麹事案を受けて、品質管理等、工場で見直しを実施したか？また、紅麹以外の製品は生産を継続しているか？

A：品質管理の見直し等につきましては、厚生労働省主導で行われております原因究明や、事実検証委員会による検証の結果も踏まえて、今後検討いたします。紅麹以外の製品につきましては、継続して生産しております。

Q：紅麹事案の原因究明には、時間がかかりそうか？

A：原因究明については、厚生労働省主導で行われており、回答することが難しい状況です。当社といたしましては、引き続きそれに貢献すべく、必要な情報提供を行ってまいります。

以上

【注意事項】

本資料に記載されている内容は、説明会での質疑応答内容をそのまま書き起こしたのではなく、当社の見解により加筆・修正等を加えて要約したものであり、その情報の正確性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがございます。なお、業績見通しや将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な不確定要因により大きく異なることがある旨、ご了承ください。